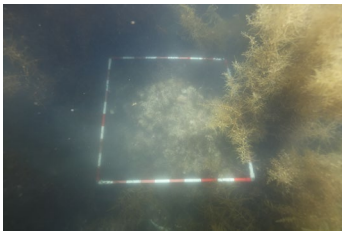
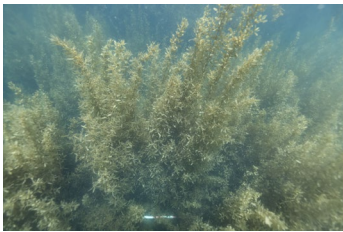


【対象面積の海藻類について】  
ヒイラギモクが優占している。  
その他にマジリモク、コブクロモク、キレバモク、  
イソモク、ヤツマタモク、ウミウチワ、フクロノ  
リが見られた。  
また、2月頃には一面をフクロノリが覆う。

【湿重量の計測】  
ツボ狩りは、対象面積の海藻類を代表する海藻が  
生育する場所（被度95％）において1m方形枠を設  
置し、枠内の海藻を採取して重量（kg）を計測し  
た。

【含水比の算出】  
採取した海藻のうち一部の海藻を十分に乾燥させ、  
重量を測定して乾重量/湿重量より含水率を算出し  
た。

【P/B比の算定】  
横山ほか、1999の文献および採取した海藻の高さ  
からP/B比を算定した



※袋重量0.16kg含む



2月頃、  
全体を覆う  
フクロノリ

単位面積当たりの湿重量：7.829kg/m<sup>2</sup>  
7.829 × 10 = 78.29t/ha

湿重量	⇒	乾重量
80℃で48時間		
81.18 g	⇒	10.99 g
76.54 g	⇒	9.91 g

含水率：平均86.75%

【ヒイラギモク】  
P/B比：1.5

【確実性評価について】  
ツボ狩り時において、全面をヘラで綺麗に剥ぎ取ってしまうと翌年に生えづらい為、ある程度の長さを残している。そのため、湿重量及び含水比、P/B比に対して過小評価を行っており、吸収係数に係る自己評価を100とする。